## 陳 情 文 書 表

受 理 番	号	陳 情 第 5 5 号
件	名	秋葉区山の手地区住民バスの廃止を求めることについて
要		山の手地区住民バスは、平成 30 年4月から社会実験の名目で試験運行を開始しましたが、予想どおり乗客がおらず、惨たんたる結果となりました。 平成 31 年 (令和元年) においては、乗客数の拡大を願望し、社会実験の延長を試みましたが、魚のいない池で釣りをするごとく、平成 31 年4月から令和元年 10 月までの経営実態は、下記の実績表の示すとおり壊滅的な状況にあります。 私は、矢代田(山の手)で生まれ、矢代田で育ち、誰よりも矢代田の将来展望を熟知している者として、山の手地区住民バスは速やかに廃止することが得策と理解しています。 特に、新潟市の財政が硬直化し、官民挙げて財政再建に取り組んでいる今、税金の無駄遣いに等しい、山の手地区住民バスを廃止することこそ、広く市民は願っています。ついては、秋葉区山の手地区住民バスの廃止を求め陳情いたします。  山の手地区住民バス実績表 (令和元年分)
年	託 月日 員会	令和元年 12 月 12 日 環境建設常任委員会
	理	令和元年 12 月 4 日 第 505 号